



# おごせ

あなたと議会をむすぶ  
議会だより



越生町 産業祭

## 主な内容

- 平成24年度決算認定…………… 2 P
- 議案の審議…………… 4 P
- 8月臨時議会・賛否表…………… 7 P
- 一般質問 10名が登壇…………… 8 P

## 第147号

平成25年12月1日

発行・越生町議会  
編集・広報編集委員会

☎ 049-292-3121 内線204

〒350-0494

埼玉県入間郡越生町大字越生900番地2

議会だよりは再生紙を使用しています。

# 決算賛成多数認定

9月  
定例会

歳入 40億6848万円

\*前年比=4億886万円(9.1%)減

減額の主な要因・・・町税は固定資産税の評価替えにより土地、家屋が大幅に減少。町民税、町たばこ税、地方譲与税、繰入金ほか庁舎耐震補強工事や越生中学校武道場建設工事等の終了に伴う国庫支出金の減額による。

【歳入の主なもの(○数字は順位・%決算額)】

①町税	33.20%	13億5258万円
②地方交付税	28.30%	11億5112万円
③国庫支出金	6.40%	2億5960万円
④繰越金	6.40%	2億5874万円
⑤町債	6.20%	2億5022万円
⑥県支出金	5.70%	2億3135万円
⑦地方消費税交付金	2.30%	9299万円
⑧地方譲与税	1.30%	5196万円

その他、諸収入、使用料及び手数料、ゴルフ場利用税交付金、分担金及び負担金、繰越金等があります。

平成25年第3回定例会は、9月3日から20日までの会期で開催されました。町長から提出された案件は、平成24年度決算認定7件、条例の改正2件、条例の廃止1件、補正予算3件、契約の締結1件、同意2件でした。慎重審議の結果、認定・可決・同意しました。一般質問では10名の議員が登壇、町政に関する質問を行いました。

反対します

大企業の内部留保を活用せよ

神邊 光治

自民党安倍政権は「消費税大増税と社会保障の一体改革」を進め、「アベノミクス」では景気回復は実感できません。安倍政権は来年4月から消費税を8%に引き上げる予定で国民に8兆円増税、大企業には5兆円の減税です。増税分は全額社会保障の約束は反故に、国土強靱化計画等公共事業、オリンピック便乗の減税です。消費税大増税は中止すべきです。既に年金の引き下

げ、生活保護基準の引き下げが実施され、弱い立場の国民を苦しめています。厚生労働省は介護保険の要支援1、2の保険給付を廃止し、医療は国民健康保険の広域化で国保税引き上げです。労働者の賃金は統計で14か月連続減少。1997年から70万円も減です。大企業の膨大な内部留保260兆円を活用し賃金を引き上げ景気回復を図るべきです。

一般会計決算に対する討論

# 平成24年度一般会計

## 歳入・歳出 の概要



壮大な大クスとウッドデッキ

歳出 38億7006万円

\*前年比=3億4854万円(8.3%)減

減額の主な要因・・・総務費・教育費が大規模工事の終了により減額。民生費は児童手当の制度改正に伴う影響で減額。衛生費は水道事業会計出資金の減少、坂戸地区衛生組合・埼玉西部環境保全組合への負担金の減額による。

【歳出の主なもの(○数字は順位・%決算額)】

①民生費	30.40%	11億7756万円
②総務費	17.70%	6億8350万円
③土木費	10.00%	3億8659万円
④衛生費	8.90%	3億4330万円
⑤教育費	8.00%	3億0875万円
⑥公債費	6.30%	2億4509万円
⑦消防費	6.30%	2億4472万円
⑧諸支出金	4.90%	1億9122万円

その他、農林水産業費、議会費、商工費、労働費があります。

賛成します

限られた財源の効果的な配分  
努力の跡がうかがえる内容

宮島 サイ子

賛成します

新町長体制が着実な  
一步を刻印

水沢 努

平成24年度は、震災後の復興も徐々に進み、国内経済も回復の兆しが見られるようになりました。また12月には政権交代も行われ、今後、その影響が国内経済へ波及していくことが期待されたところですが、こうした情勢下で迎えた平成24年度決算は、前年度に比べて、歳入は9・1%の減、歳出は8・3%の減でした。このうち歳入については町税の減額、譲与税や交付金、国庫支出金等の減額、歳出についても同様の減となりましたが、限られた財源の中で町民福祉の向上や生活環境の改善を目的に、各種事業が展開されており、また、厳しい財政状況下においても財源の効果的な配分がなされるなど努力の跡が伺える決算内容であり、高く評価いたします。

今後一層の努力を要望し、賛成致します。

今、日本国家は1000兆円の借金を抱え、未曾有の財政危機にある。そうした中「地方にできることは地方で」と、さまざまな事業が、地方自治体に移譲されようとしている。それは不可避な時代の流れだが、地方に大きな負担となることは事実だ。しかしながらそれに反対し、理想論を振りかざしてもしかたない。むしろそうした事態への対応が遅れるだけだ。そのことで一番被害を受けるのは弱者である。そして最大の弱者は投票権もない子供たちやまだ生まれていない将来の世代だ。最善の策は、地方分権の時代に備え、自力で動ける自立した自治体や地域を作ることだ。新町長体制は半年の短期間だが、着実にそうした歩みを開始したと評価できる。その意味で、私は一般会計決算認定に賛成する。

# 平成24年度会計別決算

単位：円

会計名		歳入	歳出	差引額
一般会計		4,068,475,325	3,870,055,788	198,419,537
特別会計	公平委員会	539,899	194,510	345,389
	農業集落排水事業	35,311,460	33,175,802	2,135,658
	国民健康保険	1,682,471,866	1,574,115,473	108,356,393
	介護保険事業	848,672,117	836,939,527	11,732,590
	後期高齢者医療	118,423,611	116,291,348	2,132,263
計		2,685,418,953	2,560,716,660	124,702,293
水道事業会計	収益的収支	276,058,334	304,243,989	△28,185,655
	資本的収支	2,020,756	108,146,163	△106,125,407
合計		7,031,973,368	6,843,162,600	188,810,768

※水道事業会計：資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額106,125,407円は過年度分損益勘定留保資金で補てんした。

## 条例改正等

越生町延滞金徴収条例を廃止する条例

町税及び町税外収入金に対する延滞金について本条例を廃止する。

賛成全員 可決

越生町後期高齢者医療に関する条例を改正する条例

地方税法の一部が改正されたことに伴い特例規定に関する割合を改正。

賛成全員 可決

越生町介護保険条例を改正する条例

地方税法が改正されたことに伴い改正。

賛成全員 可決

## 人事案件

越生町監査委員の選任

島田園夫氏 津久根・70歳

(神邊光治議員退席)

賛成全員 同意

教育委員会委員の任命

浅見 登氏 小杉・65歳

(神邊光治議員退席)

賛成全員 同意

平成25年度一般会計補正予算(第2号)

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、3421万円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ、40億6218万円とする。

補正の主なものは次のとおりです。(△は減額)

## 歳入

地方交付税 5008万円  
 国庫支出金 2540万円  
 県支出金 535万円  
 繰入金 △5432万円  
 町債(臨時財政対策債) 794万円

## 歳出

民生費 460万円  
 衛生費 △282万円  
 土木費 3204万円

民生費では、支え合いマップを活用した見守り体制整備。衛生費は浄化槽市町村整備推進事業の見送り。土木費では、いこいの広場のトイレ及び上谷、上野東地内舗装改修等。なお、町村情報システム共同化実施準備のデータ移行費として、1985万円の債務負

担行為補正も同時承認した。

賛成全員 可決

平成25年度越生町介護保険特別会計補正予算(第1号)

賛成全員 可決

平成25年度越生町水道事業会計補正予算(第1号)

資本的支出 1000万円

(埼玉県債購入費)

賛成全員 可決

工事請負契約の締結

平成25年8月27日、8社参加による入札が行われ、その結果、次とおり工事請負契約を締結することについて議決を求める。

契約の目的

越生中学校太陽光発電設置工事

契約の方法

指名競争入札

契約の金額

5040万円

契約の相手方

株式会社 彩電業社

工期

契約締結の日から平成26年3月28日まで

賛成全員 可決

## 8月臨時会

第1回臨時会が8月6日に招集され、会期1日間の日程で行われました。  
 上程された議案は、工事請負契約の締結1件で慎重審議の結果、可決されました。  
 また、常任委員会委員並びに議会運営委員会委員の選出が行われました。（構成表は6Pに掲載）

### 工事請負契約の締結

平成25年7月31日10社参加による入札が行われ、その結果、次とおり工事請負契約を締結することについて議決を求めます。

### 契約の目的

越生中学校プール改修工事  
 契約の金額 6134万1千円

### 契約の相手方

岩堀建設工業株式会社

### 工期

契約締結の日から  
 平成26年3月25日まで

賛成全員 可決



越生中学校のプール

## 8月臨時会で審議した議案の各議員賛否表

○は賛成、●は反対、欠は欠席 退は退席 議は議長

議案番号	件名	議員氏名											審議結果	
		水沢 努	木村 正美	宮島サイ子	宮崎さよ子	吉澤 哲夫	木村 好美	田島 孝文	長島祥二郎	神邊 光治	浅野 訓正	新井 康之		
34	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決

## 9月定例会で審議した議案の各議員賛否表

○は賛成、●は反対、欠は欠席 退は退席 議は議長

議案番号	件名	議員氏名											審議結果
		水沢 努	木村 正美	宮島サイ子	宮崎さよ子	吉澤 哲夫	木村 好美	田島 孝文	長島祥二郎	神邊 光治	浅野 訓正	新井 康之	
35	越生町延滞金徴収条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
36	越生町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○		○	○	○	○	○	○	○	議	可決
37	越生町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
38	平成25年度越生町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
39	平成25年度越生町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
40	平成25年度越生町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
同意4	越生町監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	議	同意
同意5	越生町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	議	同意
41	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
認定1	平成24年度越生町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	認定
認定2	平成24年度越生町、毛呂山町外4組合公平委員会特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
認定3	平成24年度越生町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
認定4	平成24年度越生町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	認定
認定5	平成24年度越生町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	認定
認定6	平成24年度越生町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	認定
認定7	平成24年度越生町水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	認定

# 一般質問 町政を問う!!

## ① 宮崎さよ子

- 1 企業誘致について

## ② 木村 正美

- 1 八高線の活性化は越生町が主導せよ
- 2 子育ての町越生に子ども課の創設を
- 3 死亡交通事故なし記録更新の啓発を

## ③ 田島 孝文

- 1 ゆるキャラ「うめりん」について
- 2 郷土学習の必要性について

## ④ 浅野 訓正

- 1 越生まつりについて
- 2 観光センター(里の駅)について
- 3 井戸水の活用状況について

## ⑤ 水沢 努

- 1 越生駅東口開設について
- 2 町有地に太陽光発電を設置すべきではないか
- 3 空き家バンクの現状と展望について

## ⑥ 木村 好美

- 1 昆虫館の利用実態について
- 2 特産物加工所の今後と梅保跡地利用について

## ⑦ 宮島サイ子

- 1 健康日本21(第2次)を踏まえた健康づくり、介護予防に向けた取り組みについて
- 2 健康マイレージの取り組みについて
- 3 男性介護者に対する支援について

## ⑧ 吉澤 哲夫

- 1 豪雨時の避難や災害予防対策について

## ⑨ 長島祥二郎

- 1 町の商店の活性化と収税に関する取り組みについて
- 2 観光の町「おごせ」として一層の努力を

## ⑩ 神邊 光治

- 1 道州制導入の首長アンケートについて

平成25年9月議会では、議長を除く10名の議員が登壇しました。全質問項目は左記のとおりです。

本文は、質問した議員本人の責任で要約し執筆した原稿をそのまま掲載しています。(別掲の議員名を付した文章も全て同様の扱いです。)

全文は、図書館等に置いてある会議録か、インターネット(越生町ホームページ内「会議録検索システム」)で閲覧することができます。

### 常任委員会

区分 役職	総務建設 常任委員会	文教福祉 常任委員会
委員長	田島 孝文	水沢 努
副委員長	木村 好美	木村 好美
委員	長島祥二郎	神邊 光治
"	新井 康之	吉澤 哲夫
"	宮崎さよ子	浅野 訓正
"	宮島サイ子	

#### 総務建設常任委員会

総務課、企画財政課、税務課、産業観光課、まちづくり整備課及び会計課の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属さない事項

#### 文教福祉常任委員会

町民課、健康福祉課及び教育委員会、水道課所管に属する事項

### 議会運営委員会

区分 役職	議会運営委員
委員長	神邊 光治
副委員長	長島祥二郎
委員	田島 孝文
"	木村 好美
"	吉澤 哲夫
"	水沢 努

議会の運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項

### 議会広報編集委員会

区分 役職	広報編集委員
委員長	田島 孝文
委員	木村 正美
"	吉澤 哲夫
"	浅野 訓正
"	宮崎さよ子
"	宮島サイ子
"	水沢 努

議会だよりの編集及び発行に関する事項

## 委員会構成



## 口メモ

一般質問の人数制限はありません。一問一答方式で一人当たりの質問時間は60分以内です。質問を行う議員は、事前に議長あてに「こんな質問をします」という通告を行います。

## 企業誘致の早期実現を

宮崎さよ子



**問**

①町が誘致場所として最優先に考えている場所は。②どんな業種、規模を想定しているのか。また、どんな効果を期待しているのか。③誘致にあたってどのような具体的な行動をとってきたのか。④町の戦略はあるのか。

**答**

①大谷地内の約4ヘクタールの工業用地。②ある程度大きな製造業を考えている。企業誘致ができれば、固定資産税が増えたり町民の雇用機会が広がり、地域経済が活性化するなどの効果があり人口増加にもつながる。③県の企業誘致担当と連絡を

密に積極的に紹介をお願いしている。④大谷地内の土地を工業施設だけでなく流通業務施設も建設できるよう変更手続き協議中。製造業を第一に考えているが流通業務施設でもやむを得ないと思う。早期に誘致できるよう努める。

**問**

平成21年の住民意識調査で多くの町民が「地域の雇用状況が不満。特に企業誘致に力を入れて雇用機会を提供してほしい」と回答している。町はどう動いたのか。

**答**

大谷地内に早く企業誘致できるよう努めている。

**問**

県の紹介、企業から進出のオファーを待っているだけの今の町の取組状況では企業誘致は難しい。もっと強力で誘致活動をするべきではないか。誘致に対する町の熱意を伝えるため町のトップである町長による更なる積極的な企業訪問が必要だ。殿様行政では何の発展も無い。営業する事が今の越生町には必要です。全力を尽くして下さい。どう考えるか。

**答**

企業訪問するのはどうかと思う。今後「活力ある越生のまちづくり推進委員会」でも話し合っていきたい。



企業誘致の最優先場所

## 子育て支援の「子ども課」を非電化路線に活性化の息吹を

木村 正美



**問**

平成27年より乳幼児に対して、働いていなくても保育園に預けることができると制度改正に対する町の対応は。①地方版子育て会議の設置は。②認定子ども園、幼稚園、保育園の在り方は。③現時点の保育士の割り振り。④制度の変わる機会に子

育ての町に子ども課の創設は。⑤人口減少対策に子育て若年層の流入促進策は。

**答**

①次世代育成行動計画推進協議会に受益者代表を加えて改称。②多角的柔軟に子育てができるようになるが、それぞれの特色や独自性は維持。③1、2歳児は園児

**問**

沿線地域の経済活性化観光振興は非電化の特色を生かした八高線の利活用推進で。①八高線、越生線への町の要望活動は。②沿線自治体との活性化協議はあったか。③高麗建郡千三百年の記念に

**答**

①沿線市町の首長と議長がJRと東武に定期的に交渉。②ハイキング企画、共通周遊券の導入など。③沿線活性化の切り札と期待されるので多方面と連携を、働きかけていく。④沿線自治体と連携を図りながら、武内政文県議と共に町がリーダーシップをとっていく。

ほかに、町内の死亡交通事故ゼロ記録更新を質問した。



首都圏近郊でも珍しいディーゼル列車

# 郷土学習の必要性

田島 孝文



**問** ゆるキャラ「うめりん」の活動状況は。

**答** うめりんは、埼玉県のマスコット「コバトン」が団長を務める、「ゆる玉応援団」に入団しており、ゆる玉応援団としての活動など今まで120回出演しています。また、反響の大きいテレビに

も数回出演しています。今後各種事業で積極的に活用する場を研究し、有効活用していきたいと考えています。

**問** 自分の生まれ故郷、育った町や村を守り、維持していこうとする心を養うことも必要だと思う。便宜的に

「郷土愛」と表現させていたのですが、郷土を愛すればこそ、この町に住み続けたいこの町を何とかしたいという強い気持ちがあるのでは、ないでしょうか。そこで、町内の小学校中学校では郷土学習の時間を設けていますか。

**答** 郷土愛に関する教育はかつて「郷土教育」と位置づけられ、郷土の自然や生活、文化を教材として郷土愛を目的としていました。その後は、歴史教育でも導入され



旧改農園

郷土すなわち、身近な生活の場に教材を発見し、それを授業に利用するという教育方法に重点を置かれてきました。今日では、発達段階に応じた郷土の文化や歴史に親しみ、愛情を持つ心を養っていくこととされ、学習指導要領に沿って道徳の時間を中心として学校の教育活動全体を通じて取り組んでいます。

**問** 地域の食文化を次世代に引き継ぐ学校給食は。地元の特産物を食材に活用して食材への関心を

郷土すなわち、身近な生活の場に教材を発見し、それを授業に利用するという教育方法に重点を置かれてきました。今日では、発達段階に応じた郷土の文化や歴史に親しみ、愛情を持つ心を養っていくこととされ、学習指導要領に沿って道徳の時間を中心として学校の教育活動全体を通じて取り組んでいます。

# 越生まつり実行委員会の役割と観光センターについて

浅野 訓正



**問** 越生まつりについて。

**答** ①平成元年より実施。産業観光課が事務局を担

当している。昭和62年山車保有区長より越生神社の夏祭りの山車巡行を宗教と切り離し、実施して欲しいと要望あり。越生まつり委員会を立ち上げ近隣の祭りの状況や視察など調査研究を行い、山車巡行は神事と切り離し、山車の巡行を祭りの中心に6町内以外の

団体も参加が出来るような祭りにして行くことでまとまり実行委員会を設立、現在に至る。②6町内の意向で山車の曳きまわしは、決めれば良い。③30分の延長は、警察より合理的な理由が必要とありました。②、③の件は、実行委員会へ報告、また委員会で検討していく。

**問** 観光センターについて。

**答** ①営業時間が、午前10時から午後5時に変更された。利用者の結果は。②営業時間の変更の周知はしたか。



里の駅は観光案内所

**要望** 利用者の増加は、すぐには結果はでない。OTIC、休養村センターと競合するが、観光センターは観光案内所でもある。町の特産物くらい販売すべき。家庭用井戸水の調査を行うべき。

**答** ①試験的に7月から9月までの3か月夏季営業時間として変更。今のところ効果は現れてはいない。②観光センター入り口と町ホームページで知らせた。

**問** 井戸水の飲料水としての利用は考えていない。災害に備えて、町民に3日分程度の飲料水の備蓄啓発をする。



## 鳩山町に一大物流拠点 東口開設で波及効果とりこめ

水沢 努



**問** ①越生駅東口開設への住民の期待感はバリエーションフリー工事を機に大きくふくらんでいる。駅周辺は町の中枢かつ税収源であり、自治体サバイバル時代を生き残るための戦略的な拠点だ。この拠点を保持し発展させる上で、東口開設は大きな布石となる。

②無印良品ブランドの株式会社社良品計画は、鳩山町奥田区に139億円をかけ同社最大の物流センターを建設する。埼玉県としても流通加工施設として史上最大の誘致、従業員数は250人といわれ、波及

及効果により近隣における人口増が見込まれる。バイパス沿い地域への居住を促すためにも東口開設は焦眉の課題だと考えるが町の考えは。

**答** ①町長公約事業でもあり、町の発展に直結する越生駅東口開設を少しでも早く実現できるように、町長自ら3月に東日本旅客鉄道株式会社

に申し入れを行い、その後も担当レベルで引き続きお願いや交渉を行っている。7月18日には東武鉄道株式会社、8月7日には東日本旅客鉄道株式会社を訪問、町が鉄業者に呼びかけ、9月に3者による打ち合わせを開催することになった。その場で東口開設の早期実現をお願いするとともに、問題点や施工時期などについて話し合いたいと考えている。

②このことは越生町にも大きな影響があると思っている。越生駅の東側に住んでもらうために、越生駅東口開設は有効な手段であり、周辺地域の発展と利便性の向上が図れることになるので、早期に実現



東口開設を待つロータリー

できるように努力する。

## 特産物加工所を下へ移転し 梅・ゆず「発信」の拠点に

木村 好美



**問** 梅園保育園跡地の昆虫館およびコミュニティ館の利用状況は。ゆうがく館のような児童館の役割は果たしているのか。今後の方向性は。

**答** 昆虫館来場者は増えていますが、コミュニティ館はほとんど利用されていない。今後は、多くの利用を図るため、常駐職員を置き、講座を開くことを検討している。例えば、スマートフォン、た

くあんの漬け方、白菜の作り方、そば打ち、和ダコ作り、キルト等、高齢者、主婦を対象とし、有効な具体策を講じていきたい。

**要望** 状況を把握し、子どもの安全を守りながら、町の声を聞き、見直して欲しい。

**問** 梅園保育園跡地に、特産物加工所を移転し、「梅・柚の館」とし、拠点と位置づけ、町おこしをする気はないか。特産物加工所の社長は町長。現加工所へ行くには、坂道で品物落下等で危険。また大型トラックは入らない等、問題がある。工場見学が出来るような施設にする気はないか。農家の皆様が以前のよう

な活気をとり返すべく、町が出来ることは何か。

**答** 特産物加工所については、下ろす考えはある。水面下で、県議と連携をとり「道の駅」を考えている。この道の駅に隣接した場所に移転したい。梅保跡地は無理。

**要望** 特産物加工所移転は必須。農水省は、6次産業化を推進しており、女性の能力を生かすための施策を講じている。(補助金等の様々な施策がある。)

町長自らご答弁いただいた「道の駅構想」が実現すれば

それは素晴らしいと思われる。梅、ゆず農家の皆様、そして町が、活気あるような施策を。



議会だより第146号の一般質問の文中において「問」の中に「要望」が一部入っており、誤解を招く表記がありました。お詫び致します。

木村 好美

# 介護予防・健康マイレージと 男性介護者に対する支援は

宮島サイ子



**問** ①健康寿命が平均寿命と比べ、男女ともに約10年の差が出ている現状を踏まえて、町の認識と今後の対策は。②ロコモシンドローム(運動器症候群)の認知度を高めることの必要性と今後の対策は。③元気な高齢者づくりに向けた社会参加の機会や、環境の整備は。④町民ラジオ体操等の現状と、現段階の町の健康づくりの取り組みは。⑤国の健康日本21を踏まえた今後の越生町の健康づくり、介護予防に向けた取り組みは。

**答** ①健康寿命延伸は大変重要である。健康づくり事業や各種介護予防事業を進

めることにより健康寿命の延伸につながるよう取り組んでいく。②広報紙などを活用し、周知に努めるとともに様々な機会でも普及啓発を図っていく。③元気な高齢者づくりに向けた社会参加、社会貢献活動を促進するため、各事業等の更なるPRに努める。④ラジオ体操は町内4か所で行われ、多くの皆様のご参加をいただいている。⑤各ライフステージに応じた取り組みが必要であるが、町は、健康診査、保健指導、健康相談、健康教育等

の実施や、認知症予防対策等に取り組んでいく。

**問** 健康づくり活動をポイント換算し施設利用券と交換できる健康マイレージ制度は町でも取り組み可能か。また、ゆうパークへの利用は。県事業「コバトンお達者倶楽部」を7月から実施している。健康マイレージの導入は今後の課題とする。

**答** 男性介護者に対する支援策や取り組みは。地域包括支援センター等相談窓口の周知を図る



元気な高齢者づくりに向けた事業を！

とともに介護者家族の集い事業等で、ご苦労を軽減したい。

# 豪雨時の避難や 災害予防対策について

吉澤 哲夫



**問** 豪雨による過去の被害と、その後の対応と今後の計画は。

**答** 平成11年に越辺川の梅園橋下流の津久根区梵天河原地区内で越水し、被災後、県が護岸のかさ上げ、河床の浚渫を施した。今後は、豪雨時に氾濫するような軽微な水

**問** 豪雨時の避難勧告や、避難先確保について。

**答** 越生町地域防災計画に

基づき対応している。災害の危険性が高まった場合には、大雨警報発令中に熊谷地方気象台と埼玉県の共同で発

表する土砂災害警戒情報が避難情報を発令する判断基準になり、その後、3時間先までの予測雨量が138ミリ以上、1時間に60ミリ以上の雨量を確認した上で、避難勧告などを発令する体制としている。避難先については、地域防災計画に指定された一時避難場所10か所、指定避難場所7か所に避難するものとし、山間部などでは集落が孤立する可能性があるため、早めの避難を促す体制をとっている。

**問** 8月30日、気象庁から特別警報の運用が開始された。町の対策と対応は。

**答** 数十年に一度の確率で大災害の発生が予想される場合に発表されるとしているが、現段階で詳細な指示はない。町は防災意識の高揚に努め、町職員には改めて緊急時の対応が図れるようにした。

**問** 豪雨災害が発生すると、思う地域、地区や戸別に土のうや、ビニールシートを用意し、配布したらと思うが。



梵天河原付近

**答** 緊急時対策として既に土のうを250袋作り対応した。順次必要箇所に対応し、希望があれば配布する。

# 「満点夢カード」 納税利用を可能に

長島祥二郎



**問** 商業活性化のために利用されている越生スタンプ会の夢カードだが、導入して10年以上が経過した現在、消費者の注目度も徐々に低下してきていると感じる。そのような中、500円分の商品等と引き替えられる、満点夢カードの納税利用を可能にす

**答** 夢カードの概要等に關して、スタンプ会に状況を確認し、納税利用の可能性に

についても相談した。9月中の理事会で、利用実施の方向で前向きに検討することであった。納付の際のカードの換金手続さえ迅速に対応していたければ、早期実現の可能性は高いと考える。

**問** 中央公園構想整備に着手を、機は熟していると思

う。大観山は、越生駅から近く、山歩きハイキングや景色を眺めるために多くの方が訪れている。周辺には、さくらの山公園、新さくらの山、岡崎薬師、五大尊つつじ公園

があり、この一帯は、花の名所としても有名である。ここを中央公園構想として、見晴台や広場を整備するとともに秋の紅葉ゾーン、モミジゾーン、山野草ゾーンなどの樹林園をつくり、憩いの場、ふれあいの場を提供する公園として整備してはどうか。

**答** 中央公園構想は、素晴らしいと考える。関東最大級の花木の山公園になると思うが、民有地も多く、またかなりの経費がかかるので、補助金などが活用できれば少

しずつでも整備していきたい。



越生スタンプ会・夢カード

# 町長の道州制賛成は埼玉県下の町村では3人の少数派だ

神邊 光治



**問** 7月10日付埼玉新聞は、県内市町村長へ道州制導入アンケート結果を報じた。

町村の賛成は越生を含め3町、反対は12、分らないは7で賛成は圧倒的少数だ。道州制は全国町村長会の平成24年大会の特別決議で「平成20年大会以来、一貫して反対」、道

州は都道府県を廃止して全国を10に分割、市町村は基礎自治体に（人口約30万人単位、越生+坂戸+鶴ヶ島+毛呂山+鳩山の強制的合併が考えられる）の「二層構造を想定。

地域の実態、住民の意向を無視して市町村の再編を強ければ農山漁村の自治は衰退し、

国は崩壊。町村の多様な自治を否定してはならない。道州制で都道府県制度のどこが問題か、国と道州、基礎自治体の具体的役割、税財政等が明らかにならないまま、あたかも今日の経済社会の閉塞感を打破しうる変革の期待感だけの先行は国民感覚から遊離。

道州制は新たな集権体制を生み出し、財源が豊かな大都市圏への集中、地域間格差の拡大、道州と住民の距離が遠く、住民自治が埋没の懸念あり、国土に見合った多様な市町村

が地方自治の本来の姿だ」と全国町村長会は決議している。道州制は2003年の経団連の「奥田ビジョン」、その後の「御手洗ビジョン」第一次安倍内閣のビジョン等経済界と政府は一体で進行。経団連は「道州の行革」で5・8兆円の削減効果を提言、大企業中心の政策だ。

**答** 道州制は事務や財源委譲で基礎自治体の特色を発揮する反面、地域格差拡大を懸念。詳細説明なしの進行はあつてはならない。決議は

尊重。制度は賛成だが、無条件合併はあつてはならない。



9道州地図

# 「顔の見えるまちおごせ」④

## 仲間と灯籠流しを実現 おごせの会

宇津木 謙治さん



シリーズ第4回目は、同級生の仲間を中心に手作りの「おつぺ川灯籠流し」を実現した「おごせの会」の宇津木謙治さんに聞きました。

### 「越辺川は母なる川」

「灯籠流し」大成功でしたね。初めての試みで心配でしたが、多くの方に集まって頂けました。最初は仲間内で小規模にやろうと思っていたのに、話がどんどん大きくなって町や「おつぺ川を守る会」の協力も得、ポスターまでできました。灯籠用のペットボトルも地域の方々の協力もあって400本も集まり、家の中はペットボトルだらけに。

### ・越辺川「おつぺ川」の思いが

越辺川は子どもの頃いつも遊んだ思い出の場所。黒山三滝から始まり、越生町の真ん中を流れていて、町のシンボルともいえます。私には「母



これが、ペットボトルの灯籠です

なる川」って感じですね。今もきれいな自然が残っています。昨年県が川の再生事業を行い、遊歩道も整備され、ますます素晴らしい憩いの場所になりました。でもまだそのことを知らない町民も多い。もっともつと越辺川の素晴らしさを知ってもらいたい。そのきっかけになればという思いもありました。

・企画した「おごせの会」とは 中学校の同級生の仲間が、身近にできるボランティア活動で「できる人が、できる時に、できる事を」行おうと、5年前から始めました。バイクや駅前のブランターの清掃や植栽、越生まつりやハイキングのイベントサポーター、桜の山の草刈りなどを行っています。そんな仲間から昨年生まれた企画案が「おつぺ川灯籠流し」。一年がかりで計画、準備、試行錯誤の連続でしたが、皆さまのご協力で何とか実現できました。有難うございました。

### 8月臨時会傍聴者数

本会議	傍聴人数
8月6日(火)	0
合計	0

### 9月定例会傍聴者数

本会議	傍聴人数
9月3日(火)	0
4日(水)	3
6日(金)	4
9日(月)	36
20日(金)	0
合計	43

### 議員研修

10月18日埼玉県町村議会議長会主催の町村議会議員研修会が、吉見町民会館「フレサよしみ」にて開催されました。講演は「ご当地グルメ」でふるさとを元気にするB1グランプリと食のまちおこしをテーマに、一般社団法人愛Bリーグ専務理事の俵慎一氏による講演が行われ、当議会からも全員が参加し、研修を受けました。



講演のあいさつ

### 議会を傍聴してみませんか

このたび議会広報編集委員会委員長を仰せつかりました田島孝文です。委員長としての役割を肝に銘じながら、分かり易く、読み易い「議会だより」になるよう努力してまいります。広報の基本は、伝え知らせることですが、町民・有権者の方々に「町政の今」と「町議会の生」の様子をお伝えできれば幸いです。越生町は小さな町ですが、穏やかな里山の自然と豊富な文化財と歴史に彩られた、すばらしい町です。町を活気づけようと頑張っている方々も大勢いらつしやいます。そんな方々に負けぬよう頑張つてまいります。

(田島孝文・記)

委員長 田島 孝文  
委員 吉澤 哲夫

浅野 訓正

宮崎さよ子

宮島サイ子

木村 正美

水沢 努

アドバイザー

議長 新井 康之

### 編集後記